

日立工業高校ソフトテニス部



提供：よしだ写真館

〈目的〉

継続、我慢、思いやり、前向きな考え方ができ、将来社会に貢献できる選手の育成

〈紹介内容〉

中学校から引き続いてソフトテニスを極めたい人、中学校では結果を残せずに悔しい思いをした人、新しい部活を考えている人、必要なのはやる気だけです。部活動の第一の目的は試合に勝つことだけではありません。心身を鍛え望ましい人間性を養う事です。部員一同、「一生懸命にソフトテニスに打ち込めるひと」の入部を心からお持ちしています。

〈部員数〉

令和8年2月現在 14名(2年 5名 1年 9名)

在籍生徒出身中 (磯原、北茨城常北、中郷、高萩、秋山、駒王、助川、泉丘、大久保、見川)

〈主な実績〉

令和 7 年度

○関東高等学校ソフトテニス大会 県北地区予選会

男子個人 ベスト 13 松本件・大友

○茨城県高等学校ソフトテニス春季大会兼関東高等学校ソフトテニス大会茨城県予選会

男子個人 松本件・大友 出場

○茨城県高等学校ソフトテニス新人大会

男子団体 1回戦敗退

日立工業高校ソフトテニス部

〈最近の主な進路先〉

アイ・イー・シー、E&E テクノサービス、茨城プレイティング工業、NTT 東日本-南関東、オート化学工業、カーレボ、木内計測、クレハ生産・技術本部いわき事業所、JX 金属、シンニッタン、新和製作所、大建工業、ナジコ製作所、日本原子力研究開発機構、ネクセライズ、日立 Astemo、日立グローバルライフソリューションズ、日立産機システム、日立パワーソリューションズ、日立ライフ、扶桑薬品工業、三菱パワー、日立建機、NOK、日立ハイテクマニファクチャ&サービス、住友電気工業、東京精密、長岡技術科学大学、日本大学、関東職業能力開発大学校

〈特色選抜について〉

ソフトテニス部では特色選抜を実施しています。ソフトテニスが大好きで勝利を目指して、仲間を大切に、率先してチームを引っ張れる選手を待っています。しかしながら部活だけ頑張れば良いものではありません。ソフトテニスを通じて学校のリーダーとなれるように学校生活、学業等「文武両道」で頑張れる選手を育成していきます。

日立工業高校で部活、資格、工業の専門性、進路すべてを習得し、社会で活躍しよう



日立工業高校ソフトテニス部

